

露天風呂

知床を訪れた際には、岩場の多い一風変わった場所にある露天風呂に浸かる機会に遭遇します。森に生息するクマが名前の由来となっている熊の湯温泉は、羅臼岳麓の 2 つあります。根室海峡の岩場の多い海岸にある温泉では、癒しの水でくつろぎながら海を眺める機会を訪れる者に提供しています。

熊の湯露天風呂

知床の森の中にあるこの木造露天風呂は、男女別の内湯が木造の仕切りで仕切られています。簡単な更衣室があります。羅臼岳（1,661m）へ続く湯の沢登山口の道の反対側に位置しており、知床の最高峰をハイキングした後にリラックスするには最高のスポットになっています。

相泊露天風呂

この広い温泉は、根室海峡を見渡す岩場の多い海岸線に位置しています。入浴が出来る季節（5月下旬～9月中旬）には、風呂を覆うテントのようなオーニングと、男女別入浴用の仕切りが設置されています（この時期、水着は着用できません）。他の時期にはオーニングも仕切りもないため、水着の着用が許可されています。

瀬石露天風呂

この 2 つの潮溜まり温泉は根室海峡の浅瀬に位置しており、相泊露天風呂から海岸を 10 分ほど歩いたところにあります。入浴プールは干潮時にのみ現れ、満潮時には完全に水中に沈むため、ここでの入浴には潮見表の知識が必要となります。お風呂に入れるのは 7 月上旬から 9 月下旬の間のみで、更衣室はありません。